

整理番号	82
------	----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

使途項目 サーチキー 支出証拠書

779 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口章)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	県政報告10月分 (FM Haro) (広報費)		
年月日	平成30年11月5日	金額	22,032円

目的	県政の方針や県議会の状況を県民に広報するため
使途	番組料金
政務活動・ 県政との 関連性	9月定例会で議決された「受動喫煙防止条例」の周知を図るため取り上げた。

《領収書貼付枠》

ご利用明細 **静岡銀行**

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号	074
30 11 05		
銀行番号	店番号	科目
お取扱店	お取引内容	お取引金額
0357	お引出し	¥21,600
お取扱枚数	*****	
	おつり	残高

キャッシング	手数料	時刻
	¥432	16:00
		21:11

お振込先
マツシキン 11月06日
ンテン 扱いのお振込
普通 698431
マツイフィムホウソウ(カ)様
クハチ アキラ 様
TEL053-440-6208

06.520.38 (裏面もご覧ください)

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	22,032円	100%	22,032円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

〒432-8061
静岡県浜松市西区入野町9860-1

請求書

平成30年10月31日

No. 16021

静岡県議会議員 田口 章 様

浜松エフエム放送株式会社
430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
ザザシティ浜松中央館4F
TEL 053-458-8600 FAX 053-458-8611



2018年10月度

期間 2018/10/01～ 2018/10/31



前回請求額	入金額	繰越額	売上額	消費税額等
21,600	21,600	0	20,000	1,600

今回請求額
21,600

費目	(税率)	請求金額	備考
番組料金	(8.0%)	20,000	【聞いちゃえ!しずおかの政治】
小計		20,000	
消費税等		1,600	
合計		21,600	

上記の通りご請求申し上げます。

なお弊社の取引銀行は次の通りです。

浜松信用金庫 本店営業部 普通No. 698431
三井住友銀行 浜松支店 普通No. 7024266
磐田信用金庫 本店営業部 普通No. 801280

整理番号	83
------	----

決裁	会派代表者	(岡本)	経理責任者	(田内)	経理担当者	(栗)
----	-------	------	-------	------	-------	-----

使途項目 サーチキー 支出証 拠書

774 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口 章)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	県庁で政務調査		
年 月 日	平成30年11月8日	金 額	4,100 円

目 的	防災対策等のヒアリング
使 途	JR 浜松駅 ⇄ 静岡駅 (交通費)
政務活動・ 県政との 関連性	今週末、大学生と防災や人口減少・過疎対策等に関する意見交換を行うのにあたり、資料作成のため登庁。今後の県の施策に反映していく。

《領収書貼付枠》 JR 新幹線 浜松⇄静岡 回数券 2,050 円×往復

JR回数券 浜松-静岡
領 収 書 4.5/6
Receipt 支払者 田口 章 様
領収年月日 2018.-9.19
金 額 ￥12,300 (消費税等込み)
〔クレジット扱い〕
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(30031, 7枚)
東海旅客鉄道株式会社 印紙税申告納
浜松駅 付につき名古屋中村
浜松駅MV7発行 40032-02 税務署承認済

$$12,300円 \times \frac{2}{6} 枚 = 4,100円$$

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	4,100 円	/	4,100 円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 84

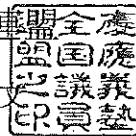
決裁	会派代表者	(周本)	経理責任者	(田内)	経理担当者	(寺本)
----	-------	------	-------	------	-------	------

用途項目 サーチキー 支出証拠書

774 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口章)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	地方創生等の研修会への参加		
年月日	平成30年11月 ¹² 日	金額	18,140円

目的	慶應義塾全国議員連盟が行う超党派の研修会への参加		
使途	JR 交通費、参加費		
政務活動・ 県政との 関連性	石破茂元地方創生担当大臣ほか講師による、地方自治論や減災対策など幅広いテーマの講演会。		
<領収書貼付枠> <交通費> 浜松 ⇄ 品川 7,570円往復①②、<参加費> 3,000円 <div style="text-align: center;"> 領 収 証 No. _____ 田口章 様 30年11月12日 * ¥ 3,000 - 但 会費として 上記正に領収いたしました 内 訳 税抜金額 _____ 消費税額等(%) _____ 慶應義塾全国議員連盟 幹事長 越川隆文  </div>			
コクヨ ウケ-76N			

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるものである	18,140円	100%	18,140円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

ご利用票 兼 領収書

SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社

Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

田口 章

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2080

クレジットカード番号
CARD NUMBER



金額計
TOTAL AMOUNT **¥7,570**
(クレジットカード利用)

内容
DETAIL きっぷのご購入代金

購入日
DATE OF PURCHASE 2018年11月8日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 11月11日

列車名・券種
利用区間 ひかり462号
浜松 **品川**
FROM TO

¥7,570



EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information

18年11月11日
¥7,570 3304 / P2080:浜松6007
000328889785

浜松 ▶ **品川**
11:11発 12:33着 (S)
ひかり462号 6号車 16番C席

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

このご利用票はきっぷではありません
ご利用票では改札口は通れません

ご利用票 兼 領収書

SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。
This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

田口 章

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2081

クレジットカード番号
CARD NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT **¥7,570**
(クレジットカード利用)

内容
DETAIL きっぷのご購入代金

購入日
DATE OF PURCHASE 2018年11月8日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 11月12日


列車名・券種
利用区間 ひかり533号
品川  **浜松**
FROM TO

¥7,570



EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information

18年11月12日
¥7,570 3304762081品川6305
000461805148

品川 ▶ **浜松**
20:10発 21:31着 

ひかり533号 6号車19番C席

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記号以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を提示させていただきます。

このご利用票はきっぷではありません
ご利用票では改札口は通れません

会 員 各 位

平成30年10月吉日

慶應義塾全国議員連盟

幹事長 越川 隆



平成30年度総会のご案内

時下益々ご健勝のことお喜び申し上げます。

日頃より本連盟の運営・発展にご協力頂き、心より感謝申し上げます。

今年度の総会開催について、下記の通りご案内申し上げます。

記

開催日 平成30年11月12日(月)

総 会 13:30～ 三田キャンパス北館1階会議室

講演会 15:00～ 三田キャンパス南館カフェテリア

講師 慶應義塾全国議員連盟顧問 都倉武之先生

15:00～15:45 (福澤先生と政治)

講師 慶應義塾全国議員連盟会友 浅野史郎先生

15:45～16:30 (人口減少社会の自治体の在り方)

講師 ジオサーチ株式会社 社長 冨田 洋先生(塾員)

16:30～17:30 (減災学のすすめ～多発する自然災害、今こそ必要は減災対策)

講師 慶應義塾全国議員連盟最高顧問 石破 茂先生

17:30～18:30 (特 別 講 演)

会費:3000円

恐縮ですが出欠のご都合を下記までFAXでお知らせください

所属議会等

静岡県

お名前

田口 章

電話

[Redacted]

出席

欠席

FAX




[Redacted]

(電話

[Redacted])

通信欄:

12

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p style="text-align: right;">平成 3 0 年 1 1 月 1 4 日</p> <p style="text-align: right;">会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ</p> <p style="text-align: right;">田 口 章</p>						
目 的	慶應義塾全国議員連盟 平成 30 年度研修会への参加					
年 月 日	平成 30 年 11 月 12 日					
場 所	慶應義塾大学三田キャンパス (港区三田 2-15-45)					
内 容	<p>1 行程 浜松 ⇄ 品川</p> <p>2 講師および聴取内容</p> <p>① 「福沢諭吉と政治 (慶應義塾にとっての明治 150 年)」</p> <p style="text-align: center;">都倉 武之 慶應義塾福澤研究センター准教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年が明治 150 年だが、会津や水戸では「戊辰 150 年」という。 ・明治 100 年の 1968 年 5 月 15 日、慶應義塾では慶應義塾命名 100 年を行った。今年が慶應義塾にとって命名 150 年と言える。 ・今から 150 年前の 1868 年 (慶応 4 年、明治元年) は、1858 年の塾設立後 10 年であり、この年、慶應義塾の命名を行った。この年、著された「慶應義塾之記」には「創立の年号に取りてかりに慶應義塾と名づく」とある。明治でもよかったのではないかと思われるが、明治への反逆ともとれる。 ・慶應 4 年 (明治元年) 5 月 15 日、福澤先生は彰義隊が新政府軍と上野で戦っているさなかにも、時間割通り、ウェーランドの経済書を講述した。福翁自伝には、「世の中に如何なる騒動があっても変乱があっても、未だ曾て洋学の命脈を断やしたことはないぞよ、慶應義塾は一日も休業したことはない、この塾のあらん限り大日本は世界の文明国である、世間に頓着するなど申して、大勢の少年を励ましたことがあります」との記述がある。 <p>また大隈重信宛の書簡には「旧物既に廃して新政未だ行われず、大学未だ立たず、文部未だ設けず。恰も文物暗黒の其時に当り、独り数十名の学士を集めて、安んじて書を読み、弾丸雨中呷唔の声を絶たざりしものは、唯慶應義塾のみならん」とある。</p> <p>慶應義塾塾歌 1 番「見よ 風に鳴るわが旗を 新潮 (にいじお) 寄するあかつきの 嵐の中にはためきて 文化の護りたからかに 貫き樹てし誇あり 樹てんかなこの旗を 強く雄々しく樹てんかな ああ わが義塾 慶應 慶應 慶應」は、まさにこの時の福澤先生のウェーランドの故事によるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾歌の歌詞は風にはためく三色旗の印象が強いが、江戸から明治に変わる荒波の中での福澤先生の心を表したものと強く感じた。先人のごとく、いかな 					

る時代にあってもうろたえず、誇りを持って独立自尊を貫き通す意気を持ちたいものである。

② 「人口減少社会の自治体のあり方」

浅野 史郎 神奈川大学教授 (元宮城県知事)

- ・総務省「自治体戦略 2040 構想研究会」提言のポイントは、圏域を行政主体とすることを法制化することだが、国は、平成の大合併、国主導の地方創生に続き、三たび愚策を講じている。
- ・総務省は平成の大合併後、連携に方針変更した。圏域化によるヨコ連携の問題は「中心市への資源や権限の集約」で「周辺市町村は資源や権限のはく奪」となる。これは住民自治を制約することになる。地域のことは地域地震が決めるべき。
- ・一方、都道府県によるタテの補完は必要だし機能するが、小規模自治体からの発意に基づくべきだ。
- ・小規模自治体も存続は可能。そのためには財源保障、財政支援が必要。さらに小規模自治体自身も地道な努力が求められる

③ 「減災学のスズメ (多発する自然災害、今こそ必要な減災対策)」

ジオ・サーチ株式会社 代表取締役 富田 洋 氏

- ・平成年代は自然災害が多発。日本は自然災害大国であり、災害に強い社会づくりのための事前防災・減災活動が急務となっている。特に道路は維持管理から危機管理の観点が求められている。
- ・東日本大震災や北海道胆振東部地震では、液状化による港湾施設の被害や道路陥没などが多発したが、ジオ・サーチ社のスケルカによる路面下点検手法を使うと、早期発見により減災対策に資することができる。さらに地中のインフラを3Dマップ化する技術も持ち、無電柱化や地中工事の効率化が可能となる。
- ・国交省や福岡市では空洞調査技術の技術評価を行い、事業者を決定しているが、価格だけでなく、より質の高い成果ができる事業者の選定が必要といえる。

④ 「特別講義」 石破 茂 衆議院議員

- ・自民党代表戦における現職総理との一騎打ちは1970年の佐藤栄作 VS 三木武夫以来48年ぶり。国家権力と戦うのは疲れる。圧力のかけ方がすごかった。しばらくあんなことはやりたくない。事前の世論調査では一般国民では66:33で勝っていたが、自民党員に限ると48:52だった。統一地方選挙は国民全員の投票であり、そこへの訴求が必要だ。
- ・憲法は第一の争点ではないが、9条改正は必要。日本では国民主権は習うが、

	<p>国家主権は習わない。領土と国民と統治（ガバナンス）は国家主権の 3 要素であり、これを守るのが国軍だ。世界の常識はネガティブリスト（できないことを記す）だが日本はポジティブリスト。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済対策として金融緩和はサステイナブルか？ 自然災害が続く中、防災省も必要だ。この国はあと何年持つのか。若い女性が減る中、出生数の増は見込めない。福祉は GDP を維持しなければ破たんする。働き方改革は労働者のためになっているか。年収 186 万円の下層階級が 929 万人と言われている。この独身男性層が高齢化すると社会はどうなるか。東京一極集中は国家としてよいのか。超高齢社会になると医療年金介護など社会保障は持たない。 ・ 竹下登総理の「ふるさと創生 1 億円」では地方の知恵が試された。当時は右肩上がりで、公共投資と大量生産モデルが経済を支えた。今後の公共投資はミッシングリンクの解消とレジリエンス、高度成長期の更新が中心となる。ただし大量生産大量消費モデルは通用しなくなっている。雇用と所得はその地域でしか考えられない。いかにその地域で生産性を上げられるか、地域と民間の知恵が試される。「十勝バス」「札幌観光バス」「クルーズキッチン」「越前鉄道」など事例はある。 ・ 宮崎県小林市の PR 動画、高知県佐川町の総合計画には中学生が関わっている。歴史を変えるのは地方の民衆・大衆だ。 <p>4 県政への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年恒例の研修会への参加。今回は 20 人ほどの議員が参加した。幅広い分野の講演を聴くとともに、全国で活動する超党派の議員と情報交換することで参考になることが多い。 ・ 浅野先生からは、自治体戦略 2040 構想研究会報告に対し、国主導の改革の限界を聴いた。広域化は不可避だが、進め方は慎重にすべきとの意見。今後の県内広域連携の参考にしたい。
--	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

整理番号 85

決裁	会派代表者	(岡本)	経理責任者	(田内)	経理担当者	(寺本)
----	-------	------	-------	------	-------	------

使途項目 サーチャージ 支出証拠書

779 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口 章)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広報広報費</u> ・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	ホームページ 基本料金 (10月分)		
年月日	平成30年11月12日~平成 年 月 日	金額	3,456円

目的	県政の方針や県議会の状況を県民に広報するため
使途	HP 運営基本料金
政務活動・ 県政との 関連性	県の政策や会派、個人の政策を広報するために必要

領 収 証

No 029466

田口 章 様

平成30年11月12日

¥ 3,456-

但し Web ARFNA Site X11 額基本料金 (10/1 ~ 10/31)
上記の金額正に領収致しました

収入
印紙

現金	✓	相殺	
小切手		値引	
手形		振込	

Sugiyama media Support Co., Ltd.
杉山メディアサポート株式会社

■ 本 社 / 〒431-2103 浜松市北区新都田1-10-2 TEL (053)484-1171(代)
■ 営業本部 / 〒435-0046 浜松市東区丸塚町196-1 TEL (053)467-6000(代)
■ 営業所 / 静岡・東京

取扱者

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	3,456円	100%	3,456円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

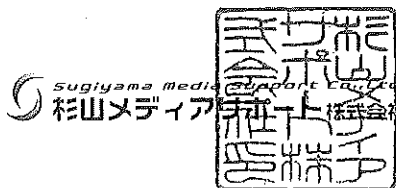
請 求 書

〒432-8061

2018年 11月 2日 締切分 No. 119548

静岡県浜松市西区入野町9860-1

田口 章 様



取引銀行
 静岡銀行上新屋支店 ①020808
 浜松信用金庫上新屋支店 ①2010778
 三菱UFJ銀行浜松支店 ①553468
 みずほ銀行浜松支店 ①1246529
 りそな銀行浜松支店 ①102049
 豊田信用金庫小松支店 ①100400
 遠州信用金庫本店 ①1086

お客様コードNo. XXXXXXXXXX

□本社営業本部 / 〒435-0048 静岡県浜松市東区丸塚町196-1
 TEL (053) 467-6000(代)
 FAX (053) 467-6006

□営業所 / 静岡営業所・東京営業所

毎度ありがとうございます。
 下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	繰越金額	税抜御買上額	消費税額	税込御買上額	今回御請求額
*****	*****	*****	3,200	256	3,456	3,456

伝票日付	伝票No.	品番・品名	数量	単位	単価	金額	備考
18/11/02	419954	WebARENA SuiteX月額基本料(10/1~10/31)	1	式	3,200.00	3,200	024-0015057

整理番号	86
------	----

決裁	会派代表者	(岡本)	経理責任者	(田内)	経理担当者	(寺本)
----	-------	------	-------	------	-------	------

使途項目 サーチキー 支出証拠書

779 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口章)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	浜松駅前にて街頭県政報告会		
年月日	平成30年11月19日	金額	400円

目的	県政の方針や県議会の状況について会派メンバーで広報を実施
使途	駐車場使用料
政務活動・ 県政との 関連性	マイクリレーによる街頭報告を行う他、県政レポートを配布し、県民に広報を実施。

《領収書貼付枠》

名鉄協商パーキング
浜松鍛冶町第4
0120-722-247

領収証

車室No.(自動車) 6 A No.01-085226
 入庫時刻 2018年11月19日(月) 07:26
 精算時刻 2018年11月19日(月) 08:42
 駐車料金 A料金 400円
 =====
 お支払い明細
 投入現金 500円
 お釣り 100円

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	400円	100%	400円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 87

決裁	会派代表者	(岡本)	経理責任者	(田内)	経理担当者	(田口)
----	-------	------	-------	------	-------	------

使途項目 サーチキー 支出証拠書

774 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口 章)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	県庁で政務調査		
年月日	平成 30 年 11 月 22 日	金額	4,290 円

目的	防災対策等のヒアリング
使途	JR 高塚駅 → 浜松駅 ⇄ 静岡駅 (交通費)
政務活動・ 県政との 関連性	会派総会及び 12 月定例会議案件名説明、公園等に関する政務調査

《領収書貼付枠》 JR 高塚→浜松 190 円
新幹線 浜松⇄静岡 回数券 2,050 円×往復

残額ご利用明細

カード番号: [REDACTED]

残額履歴 (最新 20 件)

月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
1029	入	浜松	出	高塚	*1942
1102	入	高塚	出	浜松	*1752
1111	現金	高塚	出	浜松	*3752
1111	入	高塚	出	浜松	*3562
1111	入	JR 東日本	出	JR 東日本	*3562
1111	入	JR 東日本	出	JR 東日本	*3368
1111	入	京王	出	京王	*3173
1112	入	京王	出	京王	*2978
1112	入	JR 東日本	出	JR 東日本	*2813
1112	入	JR 東日本	出	JR 東日本	*2680
1112	物販		出		*2556
1112	入	浜松	出	高塚	*2366
1120	現金	浜松	出	高塚	*3366
1122	現金	高塚	出	浜松	*3176
1126	現金	高塚	出	浜松	*4176
1126	入	高塚	出	浜松	*3986
1126	物販		出		*3666
1126	物販		出		*2576
1126	入	JR 西日本	出	JR 西日本	*2576
1127	入	浜松	出	高塚	*2386

ご利用ありがとうございます。
2018.11.28 07:53
高塚駅 1001 発行
東海旅客鉄道株式会社

JR 回数券 浜松-静岡

領収書 田口章 様 1/6

Receipt 2018.11.22

金額 ¥12,300 (消費税等込み)

(クレジット扱い)

購入商品 JR 乗車券類 JR tickets
(00266, 7枚)
東海旅客鉄道株式会社
静岡駅
静岡駅 MV-2 発行 10267-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

JR 回数券 浜松-静岡

領収書 田口章 様 6/6

Receipt 2018.-9.19

金額 ¥12,300 (消費税等込み)

(クレジット扱い)

購入商品 JR 乗車券類 JR tickets
(30031, 7枚)
東海旅客鉄道株式会社
浜松駅
浜松駅 MV7 発行 40032-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

12,300円 × 2/6 枚 = 4,100円

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	4,290 円	100%	4,290 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	88
------	----

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

使途項目 サーチャキー 支 出 証 拠 書

7 7 9 - 0 0 3

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田 口 章)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	FM ラジオによる県政報告		
年 月 日	平成 30 年 11 月 24 日	金 額	300 円

目 的	県政の方針や県議会の状況について FM ラジオを利用し県民に広報するため
使 途	駐車場使用料
政務活動・ 県政との 関連性	今回放送分は 12 月 3-9 日の「障がい者週間」を前に、心のユニバーサルデザインを喚起するため、施設運営者を招き放送した。

《領収書貼付枠》

遠鉄百貨店第3駐車場
TEL (053) 455-8311

領 収 証

精算機 #02 A 精算No.000238
 発券機 #03 発券No.099094
 入庫時刻 2018年11月24日(土) 16:10
 精算時刻 2018年11月24日(土) 17:47
 駐車時間 1:37
 駐車料金 A料金 300円
 =====
 合 計 300円
 現金領収額 300円
 お預り 1,000円
 お釣り 700円

またのご利用をお待ちしております。

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	300 円	100%	300 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 89

決裁	会派代表者	(本)	経理責任者	(田)	経理担当者	(本)
----	-------	-----	-------	-----	-------	-----

使途項目 サーチキー 支出証 抛書

774 - 003

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口章)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	福祉、産業政策に関する視察		
年 月 日	平成 30 年 11 月 26 日～27 日	金 額	33,005 円

目的	子育て支援、EV シフトに関する政策の事例研究
使 途	JR 交通費、レンタカー代
政務活動・ 県政との 関連性	本県の課題である両施策について、子育て支援に関し出生率 2.81 を記録した岡山県奈義町を視察し、また岡山県産業振興財団が取り組む EV シフト対策を視察した。本県の政策に反映していく。

《領収書貼付枠》 <交通費> JR 高塚⇄浜松往復 380 円①、新幹線 浜松→岡山 11,490 円②、JR 西日本 岡山→津山 1,140 円③、岡山→浜松 11,490 円④、レンタカー 8,505 円⑤

*レノバ代(10,125円-免責補償料1,080円-送料500円)

①

残額利用明細

カード番号	残額履歴	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
		入	浜松	出	高塚	*1942
		入	高塚	出	浜松	*1752
		現金	高塚			*3752
		入	高塚	出	浜松	*3562
		入	JR東日本	出	JR東日本	*3562
		入	JR東日本	出	JR東日本	*3368
		入	京王	出	京王	*3173
		入	京王	出	京王	*2978
		入	JR東日本	出	JR東日本	*2813
		入	JR東日本	出	JR東日本	*2680
		物販				*2556
		入	浜松	出	高塚	*2366
		現金	浜松			*3366
		入	高塚	出	浜松	*3176
		現金	高塚			*4176
		入	高塚	出	浜松	*3986
		物販				*3666
		物販				*2576
		入	JR西日本	出	JR西日本	*2576
		入	浜松	出	高塚	*2386

ご利用ありがとうございます。
2018.11.28 07:53
高塚駅 1001 発行
東海旅客鉄道株式会社

③

領 収 書	支取者 田口章 様
Receipt	
領収年月日	2018.11.26
金 額	¥1,140 (消費税等込み)
	上記金額確かに領収いたしました
購入商品	JR乗車券類 JR tickets
	(西日本旅客鉄道株式会社 1 枚)
	津山駅
	津山駅 F1 発行 00329-01
	印紙税申告納付につき大淀 税務署承認済

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるものである	33,005 円	100%	33,005 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

②

ご利用票 兼 領収書

SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社

Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

田口 章

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

2079

クレジットカード番号
CARD NUMBER

[REDACTED]

金額計
TOTAL AMOUNT¥11,490
(クレジットカード利用)内容
DETAIL

きっぷのご購入代金

購入日
DATE OF PURCHASE

2018年11月5日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

11月26日

列車名・券種
利用区間EX指定席
浜松
FROM→岡山
TO

¥11,490

列車名・券種
利用区間ひかり461号
浜松
FROM→新神戸
TO

¥0

列車名・券種
利用区間さくら551号
新神戸
FROM→岡山
TO

¥0



EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information

18年11月26日
¥11,490 330A / ¥2079 近鉄5202
080451917295 [REDACTED]

浜松 ▶ 新神戸
8:37発 10:14着 (S)

ひかり461号11号車11番C席

新神戸 ▶ 岡山
10:22発 10:54着 (S)

さくら551号 8号車 3番C席

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記載以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

このご利用票はきっぷではありません
ご利用票では改札口は通れません

④

ご利用票 兼 領収書

SALES SLIP AND RECEIPT

下記、正に領収致しました。

This is certify that Central Japan Railway Company has received the following.

東海旅客鉄道株式会社

Central Japan Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

田口 章

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2084クレジットカード番号
CARD NUMBER金額計
TOTAL AMOUNT¥ 11,490
(クレジットカード利用)内容
DETAIL

きっぷのご購入代金

購入日
DATE OF PURCHASE

2018年11月27日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

11月27日

列車名・券種
利用区間EX指定席
岡山
FROM→ 浜松
TO

¥ 11,490

列車名・券種
利用区間のぞみ42号
岡山
FROM→ 新神戸
TO

¥ 0

列車名・券種
利用区間ひかり478号
新神戸
FROM→ 浜松
TO

¥ 0



EXご利用票 (座席のご案内)
Seat Information

18年11月27日
¥11,490 3302/元2084岡山001
000854835877

岡山 ▶ 新神戸
16:53発 17:25着 (S)

のぞみ 42号 6号車 19番C席

新神戸 ▶ 浜松
17:29発 19:06着 (S)

ひかり478号 6号車 1番C席

車内改札の際は、このご利用票を呈示してください。
記帳以外の座席をご利用の場合は、入場時に使用されたICカード等を確認させていただきます。

このご利用票はきっぷではありません
ご利用票では改札口は通れません



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

貸渡人

株式会社トヨタレンタリース岡山

RA610R

発行年月日:平成 30年11月26日

津山駅前店
津山市南町1-94-1

電話番号0868-25-0100

貸渡N○: 0639586

5

借名称 田口 章 様
住所 静岡県浜松市西区入野町9860-1

項目	予定料金	精算料金
基本料金	8,640	8,640
カード割引額(0%)	0	0
その他割引額(10%)	864	864
*	0	0
小計	7,776	7,776
免責補償料	1,080	× 1,080
特別装備料	0	0
添付品料金	540	× 540
ワンウェイ料金	0	0
燃料代		729
引取配車料	0	0
ご利用額	9,396	10,125
リース無償代車		0
N O C		0
免責実費料		0
お支払額	9,396	10,125
内消費税	696	750
予約金	0	0
船乗車券	0	0
当日預り金	9,396	9,396
クレジット		
預り金合計	9,396	9,396
マル・ポイント利用	0	0
ご請求金額	0	729

<お貸しする車両>

貸渡車両 プリウスアルファ(5シノリ) 燃料 ガソリン
登録N○倉敷 300わ0761

料金クラス HV2-K 車両クラス HV2-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	11月26日18時30分	11月26日18時16分	25,217
発	11月26日12時30分	11月26日12時30分	25,099
利用分	0日 6時間00分	0日 5時間46分	118

料金種別 一般料金 料金割引率 10%

添付品 安心Wプラン 1

乗車人数 0名
返却営業店舗岡山駅西口 086-254-0100 返却府県 県内
運転者氏名 田口 章 様

クレジット	
この請求金額内額	



トヨタレンタカー予約センター

0800-7000-111 無料

http://rent.toyota.co.jp

<トヨタレンタカーマイル>

会員番号
利用マイル 0
付与マイル 10
11月26日現在のマイル 42

領 収 書

領収書N○ 0100211

田口 章

様

Receipt

平成 30年11月26日

領収金額 10,125 円

(内消費税 750 円)

現金・小切手 0 円
クレジット 10,125 円
交通系IC 0 円

収入印紙

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。
ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。
(なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

営業店舗 岡山駅西口
住所 岡山市北区駅元町11-10
電話番号 086-254-0100




株式会社トヨタレンタリース岡山

本社 岡山市北区厚生町1丁目3番19号

扱者印



Toyota Rent-a-Car is an official rental car partner of Hertz. Should you have any questions regarding this Rental Agreement/Receipt, please do not hesitate to ask the Toyota rental counter staff, or contact your home country's Hertz Customer Service Center. Thank you for renting from Toyota and Hertz.

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p style="text-align: right;">平成 3 0 年 1 1 月 2 8 日</p> <p style="text-align: right;">会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ</p> <p style="text-align: right;">田 口 章</p>						
目 的	子育て支援と産業政策に関し岡山県を視察					
年 月 日	平成 3 0 年 1 1 月 2 6 ~ 2 7 日					
場 所	①岡山県奈義町、②岡山県産業振興財団（岡山市）					
内 容	<p>1 行程 浜松→津山→奈義町→岡山→浜松</p> <p>2 聴取内容および対応者、県政への反映</p> <p>① 岡山県奈義町の子育て支援策</p> <p>奈義町情報財政課副参事 佐々木伸江 氏、安藤栄一 議員、鷹取渡 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈義町は人口 6000 人弱の岡山県北部にある過疎地域。陸上自衛隊駐屯地がある。ピーク時の人口は 8900 人。 ・平成 14 年に住民投票により 7 割の得票で単独町政を決定。以降、住民の危機感による意識改革が進んだ。 ・出生率は H17 年 1.41 (37 人)、H21 年 1.80 (48 人)、H25 年 1.88 (43 人)、H26 年 2.81 (60 人)、H27 年 2.27 (51 人)、H29 年 2.39 見込 (56 人) と高い出生数を維持 ・この間、平成 24 年に「子育て応援宣言」を出している。 ・平成 30 年度の子育て支援事業は年間 1 億 3850 億円。予算に占める割合は約 3.5%とのこと。各種事業を行っているが、中でもユニークな支援施策は下記のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ◆町外に通わざるを得ない高校生を対象にした「高等学校等就学支援金（年 9 万円×3 年間、154 人対象）」 ◆平成 16 年から導入した「出産祝金（当初は第 3 子 10 万円、現在は第 1 子 10 万円、第 2 子 15 万円、第 3 子 20 万円、第 4 子 30 万円、第 5 子以降 40 万円）」 ◆在宅で育児する保護者に生後 6 か月から幼稚園入園前まで一人 1 万円を給付する「在宅育児支援手当」を平成 28 年度から導入 ◆若者向け賃貸住宅（3LDK 21 戸）を家賃 5 万円で提供。 ・制度による経済的支援だけでなく「なぎチャイルドホーム」の存在が大きい。親が気軽に行ける相談の場で友だちづくりにつながるほか、他人の子どもも含めた育児参加、さらに町民参加のしくみもあり、出生率向上を後押ししている。 					

→本県の施策として「羅針盤」を作成し、市町が独自性を持って使える補助制度を持っているが事例のヨコ展開を考えるべき。

小さい自治体ほど頭を使っており、住民参加が進んでいる。奈義町では民度の高さを感じた。こうした工夫が必要。

② 岡山県産業振興財団 (EV 車両構造研究会)

岡山県産業労働部産業振興課 副参事 松井 泰和 氏

- ・岡山県は外郭団体である岡山県産業振興財団とともに県内自動車部品メーカーを対象にEVシフトに向けた研究会を開催している。
- ・その一環として、昨年度の日産リーフに続き、BMW i3のティアダウン(分解)を行っていたので視察させていただいた。
- ・ティアダウンは県と連携協定を結んでいる三菱自動車(岡崎)の協力を得て、10社を超える県内企業が参加していた。
- ・樹脂のほかCFRPを多用しており、また軽量化技術としてアルミやマグネシウムも活用していたが、材料や加工技術の研究開発に活用できそうだった。
- ・岡山県は、今後も参加部品メーカーに有償で部品を提供し、研究開発に資してもらい、年度内にそのレポートをまとめるということだった。
- ・こうした研究会は平成23年度から取り組んでいるということだったが、知事のトップダウンによるものということであった。さらに今後、重点施策として5か年計画で取り組むとしている。

→本県においては、今年度、浜松地域イノベーション推進機構内に次世代自動車センターを設置し、12月にリーフのティアダウンを予定しており、今後の部品メーカーの技術開発研究に資していく考えだが、岡山県はさらに先んじている。

EVシフトはまさに日本の自動車産業の将来を占う大変革期にあるが、地域内、また地域を超えた「競争と共創」が必要になってきたと言える。

今後の本県における取り組みを支援していく。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。